

図書館だより

今回は1年生の広報係が担当で、図書館に新しく入った本の中からPOPを作成しました。面白そうな本があったら、ぜひ読んでみてください。また、今年度の「図書委員会版 図書館だより」は今回で最後になります。最後まで見ていただきありがとうございます。

わたしの **be** 書きたび、生まれる

佐藤 いっ子 (著) KADOKAWA

見だ目にとらわれていた
女子高校生が書道部での
日々を通して自分なりの「美」
を見つけていく物語。

わたしの **be** 書きたび、生まれる

佐藤 いっ子 (著)
KADOKAWA

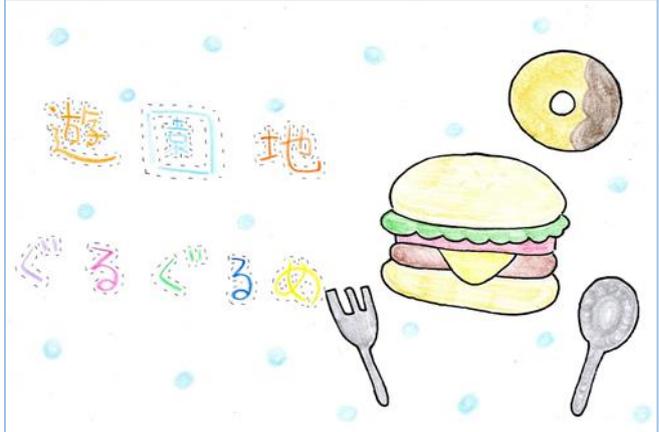
見だ目にとらわれて
いた女子高校生が
書道部での日々を
通じて自分なりの
「美」を見つけていく物語。



「遊園地ぐるぐるめ」 青山 美智子 (著)

ポプラ社

町のはずれにある「遊園地ぐるぐるめ」
は、どこか不思議で、少し懐しい遊園地です。
読み終えたあと、さ、とあなたも、
自分の中の「日常の中の小さな楽しみ」に
気がつくと思います。



『推しの殺人』 速藤 かたる (著) 宝島社

地下アイドルグループ「パイター★スタライト」の3人は、人気も
出ず苦しい日々を送っていた。そんな中、事務所の社長が殺害さ
れ、その現場にXバーの1人・イズミが居合わせてしまう。
3人は事件を隠す決断をし、秘密を抱えながらアイドル活動を
続ける。夢と罪のはざまに揺れる少女たちを描いたサスペンス小説。

推しの殺人

もしあなたの推しが殺人犯だったら
— あなたはそれでも推しますか？



『願わくば海の底で』 額賀 澗(著)

東京創元社

主人公の「菅原晋世」は「大事なものをほとんど失くしてしまう悪癖」を抱えており、物語は、校舎を荒らした謎の光、プールサイドでの女子生徒の行動、謎の絵など、彼を中心に起るさまざまな謎を通じて、彼の高校生活の軌跡とつながる物語です



『信仰』 村田 沙耶香(著) 文春文庫

主人公のミキは「現実こそ正しい」と信じる合理主義者。ある日、同級生の石毛から新しいカルトを作らないかと誘われる。ミキは最初それを馬鹿にするが、周囲の人々が次第とその「信仰」に惹かれていくうちに、自分が信じてきた現実もまた一種の信仰なのではないかと気づき始める。



『むかしむかしあるところに、死体があってもめでたしめでたし』

青柳 碧人(著) 双葉文庫

日本昔ばなしがミステリーになった人気シリーズ!

今回は「こぶとりじいさん」「耳なし芳一」「舌切り雀」「三年寝太郎」「金太郎」がミステリーに変身!

昔ばなしごとに話が完結するので、少しずつ読み進めるのにもぴったりの作品です!



『四畳半タイムマシンブルース』

森見登美彦(著)

水没したクーラーのリモコンを求めて昨日へ戻るタイムトラベラーの腕に欠ける悪友が勝手に過去を改変し、世界は消滅の危機を迎える...
言わねば分かる、この面白さ!

